

国葬に見る「戦後70年安倍談話」の検証

2022年9月27日、国民の半数が反対した安倍元首相の国葬が行われ、大型スクリーンには安倍元首相を称える8分の映像が流され、右側の「戦後70年談話」が映されました。

1995年の「戦後50年村山談話」には「植民地支配と侵略」への認識、反省がありました。それに換わるものとして2015年に発せられた「安倍談話」が、遺言のように披露されたわけです。

日韓・日中関係が停滞・悪化する中で「村山談話」から「安倍談話」への日本の歴史認識の変化をふり返ってみたいと思います。



各地を訪れるたび
先の大戦の犠牲者を慰霊

硫黄島



謝罪を続ける宿命を背負わせてはなりません

あの戦争には何ら関わり合いのない私たちの子や孫 そして、その先の世代の子どもたちに謝罪を続ける宿命を背負わせてはなりません。

講演会

会場・オンライン参加共(1000円) 要予約

電話予約は裏面

ネット
予約⇒



4 / 1 (土) 14:00~16:00

「安倍談話」徹底批判 : 「村山談話」の意義

『大元帥 昭和天皇』(新日本出版社、1994年、ちくま学芸文庫、2020年)

『日本は過去とどう向き合ってきたか』(高文研、2013年)

『兵士たちの戦場?体験と記憶の歴史化?』(岩波書店、2015年)

『日本の戦争:歴史認識と戦争責任』(新日本出版社、2017年)



山田 朗さん

明治大学文学部教授
(日本近現代史)

5 / 13 (土) 14:00~16:00

ドイツの忘却に抵抗する『想起の文化』と出会う ～日本の学生たちのスタディツアー実践より



石岡史子さん

NPO法人ホロコースト
教育資料センター
(愛称Kokoro)代表

一人ひとりを尊重する社会を目指して、第二次世界大戦時のホロコースト史を教材にした人権・平和教育を行う。これまで国内外の1,200以上の学校や教員研修で訪問授業・講演会を実施。世界40ヶ国で出版されている『ハンナのかばん』(ポプラ社)の登場人物。共著に『「ホロコーストの記憶」を歩く～過去をみつめ未来へ向かう旅ガイド』(子どもの未来社)等。早稲田大学非常勤講師。

★伊藤孝司写真展 「平壤の人びと」★

*展示期間: 2023年5月3日~7月2日 *会場 高麗博物館

伊藤孝司さんは韓国47回・朝鮮43回の取材をしているフォトジャーナリスト。

長年、朝鮮を取材した伊藤孝司さんだからこそ撮影できた写真の数々を展示します。

*5月3日(水) 4日(木)は伊藤孝司さんによるギャラリートークあり